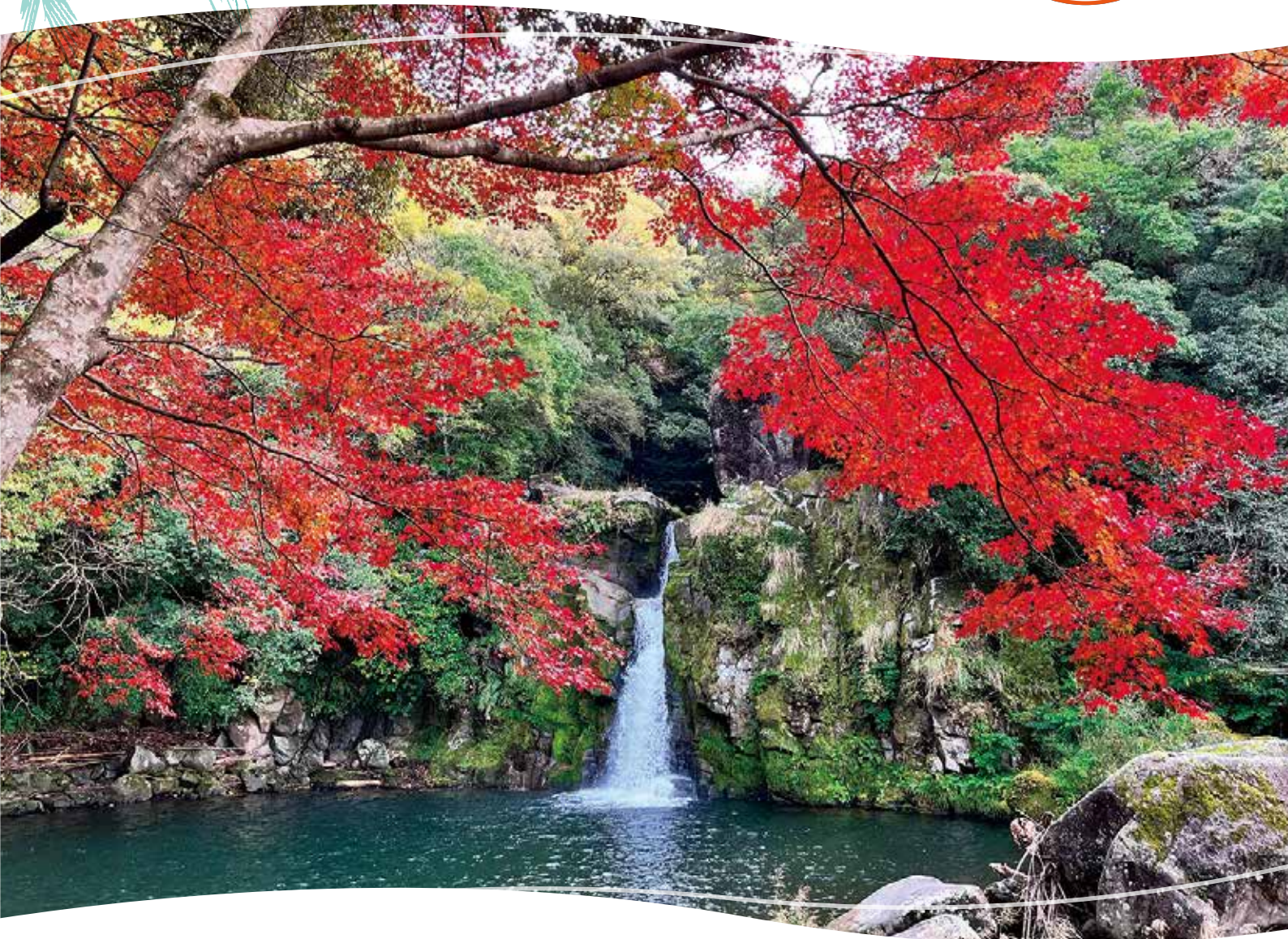




2023-24 RID2730

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2023-2024年度

ガバナー月信 ～今月の見どころ～

薩摩郡さつま町の
観音滝の紅葉

- ガバナーメッセージ
- ガバナー公式訪問報告
- 委員会活動報告
- マイストーリーテリング etc

★疾病予防と治療月間



国際ロータリー第2730地区 池ノ上克ガバナー事務所

〒885-0072 宮崎県都城市上町8-9 メインホテル4F

TEL 0986-36-6130 FAX 0986-36-6131 E-mail tsuyomu_ikenoue@ri2730.org



▲ガバナー月信は
こちらから

2023-24 RID2730

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2730地区

ガバナー月信 12月号

Contents 目次

- 1P ガバナーメッセージ
- 2P ガバナー公式訪問報告
- 8P 決議審議会結果について
- 9P 2023-24年度 ロータリー財団地域
セミナー ポリオ寄付表彰
職業奉仕委員会研修会開催案内
- 10P 委員会活動報告
- 12P 九州4地区公共イメージ共同事業報告
- 13P 川内RC第3333回記念例会
- 14P クラブ活動報告
- 17P Myストーリーテリング
- 18P ハイライトよねやま
- 20P 10月の寄付金傾向
- 21P 会員数動向・
ハワイ州マウイ島への支援金報告

Rotary
第2730地区



ロータリーとは
基本理念

奉仕の理想

『Ideal of Service』

第一標語

超我の奉仕

『Service above Self』

第二標語

最もよく奉仕する者、
最も多く報いられる

『One profits most who serves best』

4つのテスト The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<ロータリーの目的>

2012年(平成24)日本語訳を綱領から目的に改定 条文の訳も改定

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



ガバナーメッセージ

2023-2024年度 国際ロータリー第2730地区

ガバナー **池ノ上 克**

Ikenoue Tsuyomu(宮崎ロータリークラブ)

第52回ロータリー研究会が11月19日から22日まで、神戸ポートピアホテルで行われました。今年のガバナーノミニ、ガバナーエレクト、ガバナーなどが集まりロータリーについて学ぶ研究会です。

まず研究会に先立ち、ロータリー財団セミナーがあり、三木明ロータリー財団管理委員代表による「TRF管理委員会報告とロータリー財団の現況」、および佐藤芳郎日本財団副理事長による「公益財団法人ロータリー日本財団の現状」のお話がありました。

アーチクラフが提唱した、「世界で良いことをしよう」に基づく活動を実践するために、財団の基金はそのエンジンの役割を果たしています。その具体的な例としてポリオ根絶のために、アフガニスタンやパキスタンで、献身的にワクチンの投与をしているフロントワーカーの支援には、未だ莫大な資金が必要であり、ポリオに罹り悲惨な人生を送る子供たちがゼロになるまで、基金活動が必要だとの説明がありました。

研究会の第1日には、来日された国際ロータリー、ゴードンR.マッキナリーRI会長の「**CREATE HOPE in the WORLD**」の講演が行なわれました。希望を生み出す土壌となる平和には大きな意味でのLOVEが必要であるとのお話を聞くことができました。

また、千玄室ロータリー日本財団理事長の講話「満100歳を迎えて」がありました。ロータリーの例会は67年間無欠席で続けておられる方であり、背筋の伸びた姿勢で、張りのあるお声で話をされ、茶道とロータリーとに通じる敬、愛、和の心を述べられました。お二人の講演が相次いで行われた意義深いプログラムでした。

さて、ロータリーの12月は「疾病予防と治療月間」です。今回の研究会では、新型コロナウイルス感染対策で先頭に立って引っ張られた尾身茂先生の講演もありました。ポリオ根絶はロータリーの最優先事項ですが、かつて尾身先生が世界保健機構(WHO)の西太平洋地域事務局長時代にアジアのポリオ根絶に頑張っておられた頃、最初に動いてくれたのはロータリーであったと、その時のエピソードを交えてお話がありました。今回の新型コロナウイルス禍に見るように人類と感染症との戦いはこれからも形を変えながら続くことであり、重要な問題であると指摘されました。現在パキスタンとアフガニスタンにだけ発症しているわずかな野生型ポリオをゼロにする必要性を説かれ、根絶の時点を見届けるまでロータリーに関わって欲しいと説明されました。

2日目の講演では、日本いのちの電話連盟理事長の堀井茂男先生の講演があり、心の悩みを持つ人の話をよく聞くゲートキーパーの役割が重要であることを強調されました。

今回のロータリー研究会では健康の維持に関するお話が盛り込まれ、感染症とメンタルヘルスへの注意が喚起されました。

現在の日本は世界1の長寿国と言われるようになりました。食事や運動習慣による日頃の健康への関心を持ち、がん等の早期発見、早期治療が必要な医療は何時でも可能な国になっています。しかしながら、世界には基本的な医療の恩恵に恵まれない人々がまだまだ数多く取り残されています。ロータリーはこれらの地域の人々にも等しく医療が行きわたることを望んでいます。様々な形の支援をロータリーが模索し、疾病の予防と治療によって「世界に希望を生み出して行きたい」と願っています。

鹿児島北ロータリークラブ

同行者

- 有川達也ガバナー補佐(鹿児島RC)
- 松崎裕介地区副幹事(宮崎RC)
- 岩切紀幸ガバナー月信委員長(宮崎RC)

●公式訪問日●

8月 17日

ガバナー公式訪問例会では、RI及び地区のテーマについての解説をいただき、「メンタルヘルスへの取り組み」と平和の重要性を改めて再認識しました。クラブフォーラムでは「クラブの奉仕への取り組み」と「クラブの強みと弱み、クラブの問題点」について2人の会員の発表と出席者全員より意見をいただきました。

会員増強によりクラブを活性化し、持続可能で地域に根ざした奉仕活動を目指したいと思います。池ノ上ガバナーにはクラブの現状や問題点について、懇切丁寧なご指導をいただき感謝申し上げます。



小林中央ロータリークラブ

同行者

- 吉村雄一郎ガバナー補佐(小林RC)
- 長友良弘地区副幹事(宮崎RC)
- 水井孝昭会員(宮崎RC)

●公式訪問日●

9月 5日

今回の公式訪問に際しましては池ノ上克ガバナーはじめ関係者の皆様にご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。少数人数の当クラブにおいて、何ができるのか、何をしなければならないのかということについて会員と問題意識を共有する良い機会となった公式訪問でした。

池ノ上克ガバナーよりいただきましたアドバイスを基に会員増強や地域社会に貢献できる活動を会員一眼となり取り組んで参りたいと思います。



志布志みなとロータリークラブ

同行者 ●上村裕治ガバナー補佐(志布志RC)
●長友剛地区副幹事(宮崎RC)

●公式訪問日●
9月13日

「奉仕」とは何かについて、ガバナーから具体例をあげて教示頂き、また、新入会員候補者について、直接お声をかけて頂きやる気を起こしてもらった。

クラブフォーラムでは、2名の会員からの報告があったが、それぞれに適格なアドレスを頂き、会員も活動の意義を再認識した。

会長が、新型コロナ濃厚接触者の為参加出来でず、代役での開催となったが、丁寧に対応頂き感謝申し上げます。



南九州大崎ロータリークラブ

同行者 ●上村裕治ガバナー補佐(志布志RC)
●長友剛地区副幹事(宮崎RC)

●公式訪問日●
9月14日

印象的だったのは池ノ上ガバナーがロータリーを楽しんでいるということが伝わってきたことである。ロータリーを通じ、自分の職業の枠を超え、色々な方たちと交流を深めることで、人生に彩が加わる。また、年齢を重ねていくことでその「ありがたさ」がどんどん増し、生涯の友と出会えるのがロータリー、と教えていただいた。



日南ロータリークラブ

同行者

- 坂本哲夫ガバナー補佐(日南中央RC)
- 黒木勇人地区副幹事(宮崎RC)
- 長友秀一会員(宮崎RC)

公式訪問日

9月20日

まず会長・幹事懇談会では、当クラブの取り組み、活動を報告し、共感、称賛を頂くことができました。その中で、事業についての前向きなアドバイスも頂きましたので今後のクラブ運営に生かしたいと思えます。またガバナーに置かれましてはクラブの週報を熟読いただき、内容についての会話ができたと印象深く心に残っております。例会時のアドレスでは、広い視野でのロータリーを語っていただき、ロータリアンとしての心構え、あるべき姿をご教授頂きました。これからも日南ロータリークラブは奉仕の精神を忘れず、地域や人々の為に喜ばれる活動を継続していきたいと思えます。訪問ありがとうございました。



串間ロータリークラブ

同行者

- 坂本哲夫ガバナー補佐(日南中央RC)
- 廣川拓也地区筆頭副幹事(宮崎RC)
- 河東太浩地区副幹事(宮崎RC)

公式訪問日

9月21日

宮崎ロータリークラブより2人の同行者、地区筆頭副幹事:廣川拓也(ロータリー歴18年)さん、地区副幹事:河東太浩(ロータリー歴15年)さん連れて、我が串間ロータリークラブを公式訪問してもらいました。ちなみに、ガバナーのロータリー歴は28年目に入ったとの事。ガバナー補佐として日南中央ロータリークラブの坂本哲夫さんに参加してもらいました。

話はメンタルヘルスケアの話が出て、ゴードン・マキナリーRI会長がメンタルヘルスケアに力を入れているとの話をされました。またロータリーの原点は社会の同じ場面にいるものは、お互いを尊重しながら会話をしていこう。それが人の原点であると話された。福島高校のインターアクトクラブでもメンタルヘルスを

含ませた活動をさせるといいと思うと指導を受けました。雑談の中で飲酒の話が出て、構内(宮崎大学)でのアルコール飲酒はどうか、良い悪いは別にして、いろんな雑談が出ました。あちこちのロータリークラブを訪問していると、ロータリーは千差万別だと思われたそうです。私はそれでいいと思えます。



日向東ロータリークラブ

同行者 ●大久保次郎ガバナー補佐(延岡中央RC)
●金丸宜裕地区副幹事(宮崎RC) ●安藤公一会員(宮崎RC)

公式訪問日
10月3日

池ノ上ガバナーにおかれましては、当クラブの訪問がちょうど50クラブ目ということで私どもにとっても記憶に残る公式訪問例会となりました。今年のクラブテーマ「とにかく楽しいロータリー」のもと、懇談会では楽しくも有意義な意見が弾み、ガバナーアドレス、クラブフォーラムではクラブの方向性について池ノ上ガバナーから貴重なご意見を頂くことができました。当クラブは来年に創立50周年に向かって一致団結してロータリーの活動に励んでいきます。



日向中央ロータリークラブ

同行者 ●大久保次郎ガバナー補佐(延岡中央RC)
●杉田和也地区副幹事(宮崎RC) ●安藤公一会員(宮崎RC)

公式訪問日
10月4日

この度のガバナー公式訪問では池ノ上ガバナー、同行者の方には貴重な時間を頂きありがとうございました。

RI・地区の基本方針のご説明、クラブフォーラムテーマに基づいての意見交換と大変有意義な時間となりました。

池ノ上ガバナーより、会員を増やすには、核となる人が必要。奉仕活動は楽しく、継続的な取り組みが大事、親睦とフェロウシップについて等ご意見、アドバイスにて希望と勇気を頂きました。今後全員で楽しく有意義なクラブ運営ができそうです。



宮崎南ロータリークラブ

同行者 ●長嶺貴臣ガバナー補佐(宮崎北RC) ●寺坂文博会員(宮崎RC) ●寺原一種会員(宮崎RC)

●公式訪問日●
10月23日

宮崎南ロータリークラブへの公式訪問、誠に有難うございました。池ノ上ガバナーの仰るロータリー活動の原点は職業奉仕であり、社会に認められた立派な職業人の集まりがロータリークラブであるとの認識は、クラブの諸問題を解決するヒントとなり、多様な会員がクラブ奉仕の中で、ロータリーを理解し成長するという言葉に勇気付けられました。当クラブはこれからも多様な会員と共に成長し、当クラブが積み重ねた伝統を守り、また時代の中での変化を恐れずに、各種奉仕活動に邁進して参ります。



宮崎アカデミーロータリークラブ

同行者 ●長嶺貴臣ガバナー補佐(宮崎北RC) ●佐藤嘉信地区幹事(宮崎RC) ●長友剛地区副幹事(宮崎RC)

●公式訪問日●
10月24日

今回のガバナー公式訪問の目的やロータリークラブの基本方針である「五大奉仕」の役割が理解できた。それぞれの会員が職業奉仕に努めれば、その他の奉仕活動も達成することが可能となる。また、2023-2024年の宮崎アカデミークラブの活動方針テーマの「原点回帰」について種々の意見交換を行った。他クラブと同様な観点で活動することなく、独自のクラブ活動を目指すことを改めて感じた。



高鍋ロータリークラブ

同行者

- 長嶺貴臣ガバナー補佐(宮崎北RC)
- 内村彰地区副幹事(宮崎RC)
- 岩切崇徳地区副幹事(宮崎RC)

●公式訪問日●

10月26日

地区大会の感動が冷めやらぬ10月26日、池ノ上ガバナーにおかれましては大変お疲れの中、高鍋ロータリークラブにご訪問頂き誠にありがとうございました。前日の夜の、中部グループの会長・幹事会では、向かいの席でお話をする事ができ、連日お会いする機会に恵まれ大変光栄でした。例会前の懇談会では、初めてお話をさせて頂く会長エレクトにも、その温厚な人柄と優しい語り口で接していただき、緊張していた場の雰囲気が一気に和やかになりました。例会でのアドレスでは、メンバーひとり1人の顔を見て頂きながら、分かりやすくRIのテーマである「世界に希望を生み出そう」の背景や事例をお話しいただき、まだお会いしたことの無いRI会長をリアルに感じる事ができました。本年度の地区基本方針である、「継続と変化」と「メンタルヘルスへの取り組み」の二本柱を、強く推進して行く所存です。



宮崎中央ロータリークラブ

同行者

- 長嶺貴臣ガバナー補佐(宮崎北RC)
- 佐藤嘉信地区幹事(宮崎RC)
- 黒木勇人地区副幹事(宮崎RC)
- 長友岳夫会員(宮崎RC)

●公式訪問日●

11月2日

池ノ上ガバナー公式訪問は、100%ホーム出席にてガバナーをお迎えする事を目標に掲げ会員皆様の御協力のおかげでホーム100%を達成する事ができ我が中央RCの一体感を強く感じる事ができました。ガバナーの話の中でまず職業奉仕(仕事)を頑張り、次にクラブ奉仕(仲間との親睦)を深め、最後に皆で社会奉仕(ボランティア活動)をする事非常にシンプルで我がクラブでも会員皆様の自発的な活動に繋げていけるように 仕事を愉しみ、メンバーとの親睦を愉しみ、ボランティア活動を愉しむ今後進むべきクラブづくりの気づきになりました。



決議審議会結果について

審議会 代表議員 風呂井 敬

立冬の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、決議審議会は毎年オンラインで開催されますが、今年は10月17日から11月4日までの間に投票が行われました。各地区から代表議員が参加して、クラブ、地区、RI理事会、RIBI審議会または大会から提出された決議案、およびRI理事会から提出された緊急制定案について投票を行います。審議会で採択された決議はすべて、RI理事会によって審議されます。採択された緊急制定案は、ロータリーの組織規定文書に反映されます。以下は2023年度決議審議会の投票結果です。なお、各案件の詳細はマイロータリーでご覧いただけます。 <https://my.rotary.org/ja/council/cor/vote>

案件番号	タイトル	結果
23R-01	各クラブが通常例会を活性化することを奨励することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-02	クラブ協議会をガバナーの公式訪問と同時に開催するよう推奨することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-03	12歳未満の子どもに焦点を当てたプログラムの必要性を検討するアドホック委員会の任命を検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-04	ロータリーキッズをRIの常設プログラムとして公式に認定することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-05	ローターアクトクラブ入会の年齢上限を30歳に設定することを検討するようRI理事会に要請する件	採択
23R-06	地区ローターアクト代表の任務と責務に関するロータリー章典の改正を検討するようRI理事会に要請する件	採択
23R-07	各地区に地区規定審議委員会の設置を推奨することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-08	薬物療法および(または)その他のサポートケアで適切に管理されるメンタルヘルス疾患であると診断された学生を受け入れることによってインクルージョンの方針を採用するよう、青少年交換プログラムの全参加地区に対し指示することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-09	地域化の試験的プロジェクトの目的と実施方法を詳細に説明することを検討するようRI理事会に要請する件	採択
23R-10	ロータリアンが職業分類を共有するためのツールの開発を検討するようRI理事会に要請する件	採択
23R-11	ボランティア活動を推進するためのロータリープロジェクトを立ち上げることを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-12	「国境を越えた平和公園」の概念を支持し、「国境を越えた平和公園」を設立するようロータリアンとローターアクターに奨励することを検討するよう、RI理事会に要請する件	却下
23R-13	応急手当に関する研修を一般市民を対象に行う日を設けることを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-14	二酸化炭素排出量を削減または相殺するためのツールをクラブと地区に提供することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-15	世界規模でロータリー奉仕活動を支えるコーポレート・パートナーシップを築くことを検討するようRI理事会に要請する件	採択
23R-16	メタバースを利用したロータリー活動を奨励することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-17	ロータリーを代表する新しい楽曲制作の委嘱を検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-18	核兵器禁止条約を支持することを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-19	「One Profits Most Who Serves Best(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」を公式標語ではなく、ロータリーの理念として位置づけることを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-20	RI委員会委員の一般的資格要件がロータリーのDEI声明を反映したものとすることを検討するようRI理事会に要請する件	却下
23R-21	元ロータリー財団グローバル奨学生と元ロータリー平和フェローの渡航費を地区補助金で支援できるよう、ロータリー財団補助金の授与と受諾の条件を改訂することを検討するよう管理委員会に要請する件	却下
23R-22	すべてのグローバル補助金申請書に、プロジェクトがいかに積極的平和を推進するかを明記することを義務づけることを検討するよう、管理委員会に要請する件	却下
23R-23	ロータリー財団章典の第25.010.4項を改正し、地区ロータリー財団委員長の任期を3年から2年に短縮することを検討するよう管理委員会に要請する件	却下
23R-24	ロータリー財団章典第32.010.節「世界ポリオ根絶推進活動へのコミットメント」を改正することを検討するよう管理委員会に要請する件	却下
23R-25	RIのプロセス改善とコスト削減に関する定期的な現状報告をするようRI理事会に要請する件	採択
23R-26	事務総長の資格要件をRIの組織規程で明確化する立法案を今後の規定審議会に提案することを検討するようRI理事会に要請する件	採択

国際ロータリー ゾーン 1A, 2&3

2023-24年度 ロータリー財団地域セミナー ポリオ寄付表彰

DDFの20%以上寄付地区表彰 ～第3地域～

開催日:2023年11月19日(日) 会場:神戸ポートピアホテル

DDF(地区財団活動資金)の20%以上をポリオプラス基金へ寄贈した地区」で表彰されたものです。2022-23年度は\$36,000寄贈しています。2022-23年度の表彰です。写真向かって左から 穎川正伸ロータリー財団部門長、山ノ内文治直前ガバナー、池ノ上克ガバナーです。



職業奉仕委員会

職業奉仕委員会研修会開催報告

開催日:2023年10月28日(日) 会場:ニューウェルシティ宮崎

職業奉仕委員会研修会を令和5年10月28日に「ニューウェルシティ宮崎」で開催しました。まずは、各クラブの職業奉仕委員会活動事例をアンケート方式で情報収集させていただきました。詳細は地区ホームページDropboxをご覧ください。

Dropbox閲覧のためのパスワードはq8D2cUwbです。

研修会は、一般社団法人ハートスペースみやざき代表理事の財津三千代様より「DVの無い社会を目指して～求められている支援とは～」のテーマで講演頂きました。また、大迫バストガバナーより「職業奉仕とは」のテーマで講演頂きました。参加者から「職業奉仕の理解が深まった」、また、「ロータリアンは仕事をして、年会費を払い事業に参画することは立派な職業奉仕である」などの感想をいただきました。

今後の職業奉仕委員会への要望として、「多くの人を集めて研修会を開いてほしい。定期的な研修会を引き続きお願いしたい。」などのご意見をいただきました。

ご参加頂き誠にありがとうございました。

地区職業奉仕委員会
委員長 竹井 崇利(日南RC)



2023-2024年度 ロータリー奉仕デー 「海岸美化プロジェクト」

開催日時:2023年10月21日(土) 開催場所:宮崎市オルブライトホール

2023-2024年度 ロータリー奉仕デー「海岸美化プロジェクト」

国際ロータリー・3地区共同BIG対談コロキウムは、2023年10月21日(土)、宮崎市オルブライトホールで開催された。これは、2021年9月12日国際ロータリー世界一斉海岸美化清掃を契機に取り組み始めたものであり、昨年度は日本で最も海ごみ問題に取り組んでいるJEANの元理事長金子氏を講師とし、またRI2800地区直前ガバナー補佐大滝氏をパネリストとしてお迎えしてのコロキウムを鹿児島市稲盛会館で行った。

今年度は、第一部でインタラクティブの生徒さん達6名(日大高校、鵬翔高校)のパネリスト、コーディネーターにはRI第2580地区東京東江戸川RAC直前会長藤森夏幸氏にご登壇。第二部では、コーディネーターに鹿児島大学特任教授藤枝繁氏(鹿児島RC会員)にコーディネーター、パネリストにはRI第2730地区ガバナー池ノ上克氏(環境と生態から見る子どもたちへの影響)、RI第2580地区直前ガバナー嶋村文男氏(長年に渡る荒川クリーンエイド活動から見る環境課題)、RI第2800地区ガバナー伊藤三之氏(漂着ごみへの対策としての法律上の観点から)にご登壇して頂いた。このコロキウムでは、参加者は当日客席80名、ライブ配信としてのYouTube(<https://youtu.be/JtaPHJoPz2k>)のアクセス数は、700を超え現在も増え続けている。

第一部の藤森コーディネーターの暖かなまなざしでインタラクティブの生徒さん達が伸び伸びと話していた。特にインタラクティブの生徒さん達は、事前ZOOM打ち合わせも藤枝教授、ガバナーらとで行っておりその学びは大変刺激があったようだった。会場では「このような講演会はもっと学校でもやって欲しい」とあり、今後多くの学びの機会が若い世代に増えることを願ったところである。

また第二部では、伊藤ガバナーの法律的観点からの課題は、非常に新鮮であり、雪国ならではの致し方ない町ごみがどうしても河川へ流れてしまう、そしてそれを止めることは不可能だということも衝撃的だった。規制を強化すると、それはそれで社会の人間関係の悪化を促してしまう。モラルの向上が求められるということ。嶋村直前ガバナーの会社ぐるみでの環境保全活動への取り組みは、この15年間の地道な努力と活動がいかに大切であることがよく分った。鹿児島大学藤枝先生のコーディネーターの長年の研究成果による解説は圧巻であった。我が地区池ノ上ガバナーからの環境汚染による人体への影響についての話はその危機感が強く感じられ、未来の子供達のためにもこの環境汚染問題には人間のモラルの向上と成熟度が求められていくという必要性を感じた。熱気とその興奮の中で3時間があっという間に過ぎた。

今回、RID2800社会奉仕菅原委員長、RID2580社会奉仕八木委員長、そして田島奉仕プロジェクト部門長、佐藤地区幹事、笹山ガバナーエレクト等大勢にお越しいただいた。

日本の海ごみ問題に最も力を入れている3県が集まって討論できたことは非常に価値あるものであり、3年目の集大成として正に相応しい時間となった。

文責・報告者:

奉仕プロジェクト部門 地区社会奉仕委員会
委員長 塩月 隆久





九州4地区公共イメージ共同事業 およびアフター4地区

R5年10月28日(土)晴天下「神武さま」の祝祭とともに国際ロータリー第2700地区・第2720地区・第2730地区第2740地区が同日同時刻一斉にロータリー活動を開催しました。

目的は、ロータリーに対する理解を深め、社会への貢献を目的とした活動をしている団体として広報するためです。

各地区が多様な内容、大規模な活動を行う中で当地区は、教育プログラム「SDG's カードゲーム」およびポリオ募金を行いました。

この活動は九州全域で公共イメージアップを図るものでロータリーの悲願であるポリオ根絶はその中心となるのですがあくまでロータリーが多分野に渡り支援・奉仕をしていることをアピールできればと考えていました。

諸般の事情で他地区に比べコンテンツは少なかったのですが第2730地区は青少年教育への支援をアピールしたつもりです。



このちアフター4地区を考え、開催時にとった「ロータリー認知度アンケート」を踏まえて、これからの公共イメージ部門の方向性を見極める指針としてデータを残したい思います。

なお4ガバナーメッセージ等YouTubeで視聴することができます。

4地区活動、動画が完成しましたら、月信にてお知らせします。

報告者：広報・公共イメージ部門長 田村 香代子



川内ロータリークラブ 第3333回記念例会

本年度、創立70周年を迎える川内ロータリークラブでは、10月24日(火)に例会開催回が3333回となる記念例会を迎えました。

今回は、植村会長の計らいで今まで川内ロータリークラブに所属されていたOB会員にも初めてお声がけしたところ、遠くは福岡・大分から9名の方々に参加していただき大変楽しい時間を過ごしました。

OBの方々からは、現状のご様子や川内ロータリークラブでの思い出話なども語っていただきました。

川内ロータリークラブ在籍中は、一緒に行った奉仕活動や地区大会参加、夜の会合等楽しいこといっぱいであったことや、この記念例会に声をかけてくれたことにロータリアンの絆を大切にしているので躊躇なく溶け込めましたとの感謝の言葉をいただきました。

また当クラブ卒業後、他地区のロータリークラブに入会され、今回はメイクアップである方もいらっしゃいました。

皆さまのクラブも、たまにはロータリーOB・OGに声を掛けていただく例会を実施してみたいはいかがでしょうか。新しい世界が見えると思います。

川内ロータリークラブ 額川 正伸



クラブ活動報告(日南ロータリークラブ)

第19回「わかば奨学会」奨学金贈呈式

10月18日(水)にわかば奨学金贈呈式を行いました。「わかば奨学会」は日南ロータリークラブ創立50周年を記念して設立されました。今回で19回目になります。目的は日南地域で学ぶ優秀な高校生、専門学校生に資金援助を行い、社会貢献に意欲を燃やす生徒の育成にあります。これまでの奨学生は延べ91名になります。次年度は記念すべき創立20周年になります。日南ロータリークラブは、これからも、将来の夢の実現に向けて頑張る若人を支援してきたいと思ひます。



宮崎日日新聞掲載記事



奨学生の皆さん

クラブ活動報告(鹿児島南ロータリークラブ)

第15回児童虐待防止講演会・シンポジウム 「子どもたちの未来を守るために～一緒に考えてみませんか～」

鹿児島南ロータリークラブでは、2010年から社会奉仕活動の一環として、児童虐待防止活動に取り組んでおり、今回が15回目の活動になります。今年度も昨年度に引き続いて、鹿児島北ロータリークラブとの共催でシンポジウムを実施しました。シンポジウムのテーマは、「子供たちの未来を守るために」として、虐待を予防するために知っておくべきことや、子育ての環境について考えてもらうことを目的として企画しました。

基調講演は、公立八女総合病院で産科部長をされている宮川三代子先生から、「これからの女性の未来のために 私たちができること」というテーマでお話いただきました。

宮川先生は、①性教育の必要性について、②生理痛をあなどらないこと、③子宮頸がんを減らすために、という3本の柱に沿って話をされました。

従来の性教育はいわば火消しにあたるものであり、宮川先生が目指しているものは、火の用心としての性教育とのことでした。かかりつけ医についても、女兒は小児科から産婦人科医にスライドすることによって、気軽に相談できる環境が作られる、ということでした。また、子宮頸がんについては、日本では毎年約3000人が亡くなっているのに対し、子宮頸がんワクチンの接種が進んでいるオーストラリアでは、2028年に子宮頸がんは撲滅される予定である、というショッキングな話もありました。日本では、子宮頸がんワクチンの接種率が先進国ワーストレベルであり、正しい情報を得ることの必要性が語られました。

続いてのシンポジウムでは、まず臨床心理士・公認心理師の堂籠やよい先生から、「がんばらない子育て」というテーマでお話をいただきました。多くの母親にとって、特に子どもが小さいうちは、育児は24時間年中無休の仕事であること、父親の育児参加の必要性や、子育ての悩みを楽にする工夫などのお話がありました。特に、男性に求められるのは、子育ての「サポート」ではなく「共同分担者」であること、という部分については、私自身が反省させられました。

鹿児島市子ども家庭支援センターの菅野道太郎様に「マルトリートメントへの地域での支援について」というテーマでお話をいただきました。マルトリートメントという言葉の説明や、行政の取り組み、児童相談所と子ども家庭支援センターの活動内容や、どのような場合に通報をしたらよいのかなど、幅広いお話をいただきました。

堂籠先生、菅野様とも充実した資料をご準備いただいたにもかかわらず、お話に十分な時間を確保できなかったことが残念でもあり反省点でもあります。

今回は90名を超える方にご来場いただきました。終了後のアンケートでも「有意義だった」「勉強になった」といった感想が寄せられました。

広報手段や、時間配分など、反省点はありますが、今後より充実した事業になるよう引き継いでいきたいと考えています。



鹿児島南ロータリークラブ
社会奉仕委員長 直井圭介

クラブ活動報告(宮崎アカデミーロータリークラブ)

『アフガニスタンの現状』パート2 コロキウム

開催日時:2023年10月29日13:00~15:30 開催場所:宮崎大学 創立330記念交流会館
出席者:アフガニスタンから避難されている方々、一般市民、ロータリアン、宮大関係者、合計約80名

概要(結果含む)

昨年、宮崎大学で在学しているアフガニスタン留学生をお招きして「アフガニスタンの現状」について講演を開催した上、アフガニスタンと日本の未来のための支援等について意見交換を行った。現在は、多くの方々のご支援により全員の就職も決まり、ご家族の方々も安心されておられるのではないだろうか。

今回は、これまでの宮崎での生活や現状等をご報告いただくと共に、継続可能な支援等について市民の皆さんも一緒に考える機会にしたいと思い企画した。

はじめに宮崎アカデミーロータリークラブの水光歴代会長(宮大元副学長)の挨拶があり「元中山恭子国会議員から“是非アフガニスタンの若者の教育に協力を”という依頼がありアフガニスタンの留学生受入が始まった」というエピソードが紹介された。

第一部の講演では、ナズィール・アーメッドシディキ氏に今のアフガニスタンの様子、第二部ではその小学生4人にも現状を話してもらった。「学校で一番むづかしいのは漢字。一番好きな漢字は“水”(小1)、“歌”(小5)」だった。そして「何か困ったことはないか?」の質問では「何も困っていない」というあるこどもの返事に会場から拍手がわいた。日本語が大変上手で通訳がいらないほどだった。会場中が笑いと涙で感動だった。

第三部のコロキウムでは、アフガニスタン元留学生のRafiullah Orya、宮崎アカデミーロータリークラブ会員の隈元正行元宮崎国際大学長、同じく会員の國武久登宮崎大学農学部長、平井卓哉宮大農学部教授の4名が登場し、MCを大澤健司宮大農学部教授が務められた。

宮崎アカデミーロータリークラブの水光歴代会長(宮大元副学長)の挨拶では「元中山恭子国会議員から“是非アフガニスタンの若者の教育に協力を”という依頼がありアフガニスタンの留学生受入が始まった」というエピソードが紹介された。

結論にもなるのだが、鯨島学長(宮崎ロータリークラブ)から、宮大と宮崎アカデミーロータリークラブ、地域の会社などがこの2年で作り上げた所謂「宮崎モデル」が今後も日本の受け入れのモデルとなった。これからも継続して欲しいと言われた。

昨年に引き続き2回目のアフガニスタンコロキウムであったが、この二年に渡る宮崎アカデミーロータリークラブからの支援もあり、アフガンの方々と大学関係者及び地域の方々間に信頼関係ができつつあると実感した。ロータリーとして、さらに一層の平和構築に向けて歩いていきたいと思う。

報告者: 奉仕プロジェクト委員会 委員長 勢井 由美子



クラブ活動報告(鹿児島東ロータリークラブ)

ポリオ根絶チャリティー ウォーキング&ランニング大会実施

令和5年11月5日(日)、雲一つない空の下、雄大な桜島を望むマリポート鹿児島にて、『ポリオ根絶チャリティーウォーキング&ランニング大会』を開催しました。

健康づくりを兼ねて、一周1Kmの周回コースを参加者でまわっていただき、周回数×1000円を寄付することにしました。

鹿児島市内グループのロータリアンはもちろん、会員の職場の方、友人・知人、一般の方々と広く参加者を募り、66名の方々に賛同いただきました。参加者全員の周回数は211周となり、今回211,000円をポリオ募金に貢献することが出来ました。参加してくださった方と、多くの寄付が出来たことに感謝いたします。

報告者:鹿児島東RC 会長 蓑田 達志
実行委員長 松比良 剛





My
ストーリー
テリング

延岡中央ロータリークラブ
インターアクト委員会委員長

本田 大祐 ●入会歴5年

私は、平成30年に延岡中央ロータリークラブへ入会させて頂き、現在は同クラブでインターアクト委員会の委員長をさせて頂いております。インターアクト委員会では、インターアクト生と一緒に韓国インターアクト生との交流会、年次大会等に参加させて頂きました。私が高校生の時はそのような機会が無かったので、高校生の時に韓国の高校生と交流できてたら、今どのような視野を持てていただろうかなど、今の視野の狭さを痛感し、大変勉強させて頂きました。これは1例ですが、他にも普段経験できないことを沢山ロータリーで経験させて頂いております。ロータリーは奉仕と自己研鑽を同時に行える素晴らしい場だと思っています。

My
ストーリー
テリング



鹿児島東ロータリークラブ
会長

蓑田 達志 ●入会歴9年

鹿児島東ロータリーの今年度のテーマは「ストーリーテリング」活動を語り伝えるクラブの価値観、想いを伝え、発信すること。まず、クラブの取り組んだ活動をロータリアン以外に発信し、その取り組みの想いを共有する仲間増やし(会員増強)親睦を深めて、また大きな活動に取り組む。

今年度のストーリーテリングの活動は、広報・公共イメージ委員会に例会の内容と写真をFBとInstagramにアップしてもらおう。アップしたものを会員がシェアして拡散し、より多くの人に活動を発信する。

会員が日頃の会話の中でロータリーと奉仕活動をストーリーテリングしてもらおうことをお願いしました。

先日、「世界ポリオデー」の活動として、ポリオを永遠に無くすためにをテーマに「ポリオ根絶チャリティーウォーキング&ランニング大会」を開催しました。ストーリーテリングとしては、チラシをいろんな所に置いたり、配ったりしました。SNSで発信もしました。鹿児島のマスメディア15社に取材・報道のお願いを送りましたが取り上げてもらえませんでした。

来年度の申し送り事項として強いパイプのあるマスメディアにお願いして確実に取材・報道してもらおうことを伝えたいと考えています。

最後に奉仕活動のストーリーテリングは単年の考えではなく、次年度以降も続いてもらうようお願いしたいと思います。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

284

2023年11月13日

発行

秋の外国人叙勲 米山学友に旭日中綬章



旭日中綬章 リン 林 マンレイ 曼麗さん (1981-83・1996/東京保谷RC)



2006年、女性初の故宮博物院院長に就任。退任後、大学教授として教鞭をとる傍ら、大学付属美術館の活動や日本での講演など精力的に活動。2018年、日本との友好親善関係増進に貢献した個人や団体に与える外務大臣表彰受賞。現在、台北教育大学芸術の造形デザイン学部名誉教授。

(写真：2019年 米山梅吉記念館50周年式典時撮影)

1. 米山学友が紺綬褒章を受章 後輩たちへの言葉

中国出身の米山学友、
しゅうじゅんけい 周 順圭さん (1962-64 :
東京西RC、1964-65 &
66-68 : 東京世田谷RC)
が8月26日付で内閣府から
紺綬褒章を授与された
ことを受け、11月9日、
都内で褒章伝達式が行わ
れました。昨年当会へ50
万ドルをご寄付いただ



褒章と木杯を受け取った周さん(左)と愛子夫人

いたことにより、当会から内閣府へ申請。これが正式に認められ、今回の受章に至りました。

伝達式には、周さんと愛子夫人、当会の小沢一彦名誉理事長、若林紀男理事長、相澤光春副理事長、第2750地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長、東京西RCの富田和宏幹事、東京世田谷RCの松本宣春会長、洪崇富幹事、矢作千鶴子直前会長、大友敬元会長、東京大学ニューヨー

クオフィスの増山正晴理事長が臨席されました。

小沢名誉理事長から紺綬褒章と木杯を受け取った周さんは、「米山奨学金には本当に助けられました。そのお返しは当然のことだと思っていましたので、このような賞をいただくとは思っておら

ず、とても驚きました。世間では後期高齢者といわれる87歳になりましたが、私は常に後期貢献者でありたいと思っています」と、受章を喜ばれました。現役奨学生・学友らに向けては、「奨学金としていただいたお金は大切に使い、たくさん勉強してほしいです。卒業後は、その力を社会に還元することで、社会に貢献してほしいです」と、後輩たちにエールを送りました。

2. 異なる景色から見る米山奨学事業の意義

9月4日、ベトナム出身の米山学友で、さいたま大空RC直前会長のチャン コン トゥアンさん (2008-10/幸手RC) が、大宮シティRCにて卓話を行いました。



卓話するチャンさん

母国の若い人材を日本に送り出し、ベトナムの経済や教育水準向上を目指すジャパンオープンコンソーシアム協同組合で専務理事を務めるチャンさん。幸手RCでは素敵な方々に出会ったことで人生観が変わり、誰かの役に立つことの素晴らしさを体感したそうで

す。自身が会員になったきっかけは、同胞の先輩から「米山学友らで構成されるロータリークラブがある」と紹介されたこと。憧れだったロータリー会員として活動する中、「当時はありがたさを

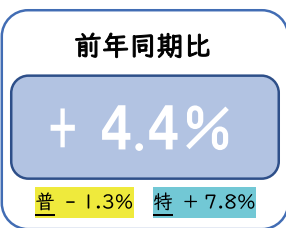
強く感じていましたが、会員として改めてこの事業の意義を考えると、教育、親睦、経済援助を通じて世界平和、国際親善、人材育成など、まさにロータリーの目的を体現するこの上ない事業だと思います」と語りました。

3. 2024 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2024学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校563キャンパス（地区を超えた指定校の重複含む。前年度569キャンパス）から1,202人（1,334人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国52.1%（54.6%）、ベトナム13.8%（13.6%）、韓国10.3%（9.0%）、インドネシア3.0%（2.9%）、次

いでネパール、モンゴル、マレーシア、台湾の順となっています。課程別の応募状況は、博士課程19.2%（17.5%）、修士課程34.3%（34.2%）、学部課程43.2%（44.6%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、9地区16校から計32人の応募がありました。

4. 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝 —



10月までの寄付金は、前年同期と比べて4.4%増（普通寄付金：1.3%減、特別寄付金：7.8%増）、約2,540万円の増加となりました。

10月末時点で累計額が6億円を超えたのは四半世紀ぶりとなりました。10月の米山月間にご協力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今年も残り2か月を切りました。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 支援に感謝 ウクライナ学友が来日講演

ウクライナ出身の米山学友、セゾネンコ テチアナさん（2017-19／大阪城南RC）がホームカミング制度で来日し、世話クラブが主催する「ウクライナ支援講演」（10月27日開催、協賛：吹田RC）で、侵攻後の生活や母国の未来について語りました。講演会には、国際ロータリー第2660地区延原健二ガバナーやロータリー会員・家族、米山学友などオンラインを含む300人弱が参加しました。



支援への感謝を述べるテチアナさん(中央)

指示でした。その日以降、テチアナさんは仲間とともに、食料や医薬品、おむつなどの物資を届けるなどボランティアに従事。大阪城南RCでは彼女の苦境を案じ、緊急支援金を集めて送った

ところ、テチアナさんは自分や家族のためではなく、すべて支援物資の購入や輸送、困窮家族の援助に充てていたことがわかりました。「自分も苦しいはずなのに、われわれのお金を一番有効なことに使いたいという気持ちで使ってくれた。すごい子やなど。だったら、もっと支援の輪を広げてあげたい」と、今回の企画の発案者である西谷雅之会員は語ります。

この日の支援講演に寄せられた義援金はなんと4,027,350円。使途については随時、大阪城南RCのHPで報告されるということです。

「戦争が始まった。皆、仕事には来なくて良い。自分で安全を確保するように」。上司からの

もうすぐ締切 普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー、
 → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。
 特別寄付金については来年 1 月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。

10月の寄付金傾向

10月分合計額 144,130,162円
累計額 602,502,103円 (前年同期比 2,540万円増)

参考 前年度10月分合計額：156,388,912円 累計額：577,143,871円

普通寄付金

10月当月 12,348,510円
10月末累計 212,280,515円
 (前年度比 1.32 減)
 (// 280 万円減)
 (予算達成率 51.8 %%)

普通寄付金上期分は1,817クラブ(82%)から納入されました。(昨年度は1,777クラブ)6地区が納入割合90%を超えました。いつも変わらぬご支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。普通寄付金の**確定申告用領収証の申請は11月末日迄**ですので、領収証を希望するクラブは今月内に忘れず当会HP よりアップロードをして申請してください。よろしくお願い申し上げます。

★普通寄付金納入状況上期分(納入数/クラブ数)

地区	納入数/ クラブ数	納入 割合	地区	納入数/ クラブ数	納入 割合
2500	45 / 65	69%	2610	52 / 64	81%
2510	50 / 69	72%	2620	60 / 74	81%
2520	46 / 78	59%	2630	65 / 73	89%
2530	50 / 61	82%	2750	67 / 89	75%
2540	17 / 40	43%	2760	75 / 84	89%
2550	29 / 48	60%	2780	60 / 67	90%
2560	47 / 54	87%	2640	57 / 64	89%
2570	46 / 50	92%	2650	80 / 95	84%
2770	59 / 72	82%	2660	68 / 77	88%
2790	70 / 82	85%	2670	64 / 74	86%
2800	42 / 49	86%	2680	63 / 68	93%
2820	41 / 55	75%	2690	60 / 65	92%
2830	30 / 40	75%	2700	53 / 60	88%
2840	43 / 45	96%	2710	69 / 72	96%
2580	62 / 72	86%	2720	49 / 74	66%
2590	52 / 52	100%	2730	52 / 68	76%
2600	46 / 52	88%	2740	48 / 55	87%

合計：納入数1,817RC
 全地区ロータリークラブ数 2,207RC
 普通寄付納入実績10月30日現在、当会入金分

特別寄付金

10月当月 258,439,936円
10月末累計 390,221,588円
 (前年度比 7.79 増)
 (// 2820 万円増)
 (予算達成率 44.9 %%)

10月末累計額は前年同期比78増、約2,820万円の増額となりました。「米山月間」に因み、下記の通り多くのクラブ、個人、法人の方々からご寄付をいただき、誠にありがとうございました。今後も引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

★ガバナー公式訪問 (単位：万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2760	あま	10	2760	名古屋栄	20
	名古屋大須	10	2780	平塚北	5
合計		4クラブ			45

★創立記念寄付 (単位：万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2580	東京浅草	20	2600	小諸	30
	東京江戸川	10	2750	東京サンライズ汐留	5
	東京臨海南	10	合計	5クラブ	75

★高額寄付者(一度に100万円以上の寄付)

D2580東京RC	長島 雅則氏	100万円	累計	100万円
D2580東京麹町RC	内田 祐輔氏	100万円	累計	160万円
D2670松山西RC	米山 徹朗氏	100万円	累計	1,200万円
D2680豊岡RC	田中 洋氏	100万円	累計	111万円
D2680尼崎北RC	堀 朋也氏	100万円	累計	102万円

★高額寄付法人(一度に100万円以上の寄付)

D2660 大阪大淀RC(株)アイドマ	100万円	累計	1,205万円
			岩本潤三氏

●会員数動向(9月)

クラブ名	期首 (2023/7/1)	9月		7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率 10/16現在
	会員数(うち女性)	末日会員数(うち女性)	会員数増減		
宮崎県北部					
延岡	72 (8)	72 (8)	0	24.32	
日向	15 (1)	17 (2)	2	70.59	
延岡東	58 (8)	61 (10)	3	55.74	
日向東	23 (2)	24 (3)	1	79.17	
延岡中央	48 (2)	50 (2)	2	18.00	
日向中央	12 (2)	12 (2)	0	58.33	
門川	7 (0)	7 (0)	0	42.86	
計(7RC)	235 (23)	243 (27)	8	49.86	
宮崎	97 (7)	103 (7)	6	98.98	
宮崎西	100 (7)	98 (8)	△ 2	38.78	
宮崎北	81 (14)	79 (14)	△ 2	41.46	
宮崎南	51 (3)	54 (3)	3	35.19	
高鍋	40 (3)	41 (3)	1	24.39	
西都	19 (3)	19 (3)	0	21.05	
宮崎中央	50 (4)	51 (4)	1	96.00	
佐土原	25 (2)	25 (2)	0	12.00	
宮崎東	29 (2)	26 (2)	△ 3	42.31	
宮崎アカデミー	39 (7)	40 (8)	1	97.50	
計(10RC)	531 (52)	536 (54)	5	50.77	
宮崎県西部					
都城	52 (8)	55 (8)	3	20.00	
小林	30 (4)	30 (4)	0	26.67	
都城北	42 (4)	42 (4)	0	80.95	
えびの	9 (2)	9 (2)	0	55.56	
都城西	38 (6)	37 (7)	△ 1	28.95	
小林中央	8 (0)	8 (0)	0	25.00	
都城中央	24 (4)	28 (5)	4	57.14	
2730ジャパンカレント	15 (5)	16 (5)	1	87.50	
計(8RC)	218 (33)	225 (35)	7	47.72	
宮崎県南部					
日南	29 (2)	30 (2)	1	20.00	
日南中央	11 (3)	11 (3)	0	15.38	
串間	7 (0)	7 (0)	0	14.29	
計(3RC)	47 (5)	48 (5)	1	16.56	
川内	55 (0)	59 (0)	4	13.33	
鹿児島県北部					
串木野	24 (6)	24 (6)	0	62.50	
出水	43 (4)	43 (4)	0	27.91	
阿久根	42 (5)	44 (6)	2	26.67	
大口	29 (2)	29 (2)	0	31.03	
薩摩川内	25 (2)	25 (2)	0	28.00	
宮之城	9 (3)	10 (2)	1	40.00	
計(7RC)	227 (22)	234 (22)	7	32.78	

クラブ名	期首 (2023/7/1)	9月		7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率 10/16現在
	会員数(うち女性)	末日会員数(うち女性)	会員数増減		
鹿児島県中部					
加治木	29 (0)	33 (1)	4	54.84	
国分	37 (2)	38 (3)	1	15.79	
霧島	14 (0)	14 (0)	0	28.57	
国分中央	35 (4)	37 (4)	2	16.22	
計(5RC)	128 (6)	138 (8)	10	24.62	
鹿児島県西部					
指宿	19 (0)	19 (0)	0	26.32	
伊集院	26 (1)	26 (1)	0	15.38	
加世田	21 (1)	21 (1)	0	28.57	
顕娃	11 (1)	10 (1)	△ 1	63.64	
枕崎	17 (3)	18 (3)	1	50.00	
計(5RC)	94 (6)	94 (6)	0	36.78	
鹿児島市内A					
鹿児島南	33 (5)	34 (5)	1	64.71	
鹿児島西	73 (4)	78 (5)	5	52.50	
鹿児島城西	26 (3)	26 (3)	0	69.23	
鹿児島東	20 (4)	22 (4)	2	54.55	
鹿児島サザンウインド	42 (11)	43 (11)	1	76.74	
鹿児島令和	34 (4)	36 (6)	2	97.22	
計(6RC)	228 (31)	239 (34)	11	69.16	
鹿児島市内B					
鹿児島	74 (10)	76 (10)	2	24.68	
鹿児島東南	27 (0)	24 (0)	△ 3	20.00	
鹿児島中央	49 (5)	50 (5)	1	16.00	
鹿児島西南	11 (1)	11 (1)	0	18.18	
鹿児島北	19 (1)	23 (2)	4	17.39	
鹿児島大学アカデミー	37 (9)	41 (9)	4	100.00	
計(6RC)	217 (26)	225 (27)	8	32.71	
鹿児島県東部					
鹿屋	52 (6)	53 (6)	1	38.89	
串良	27 (4)	27 (4)	0	25.93	
鹿屋西	44 (7)	44 (7)	0	59.09	
志布志	20 (2)	22 (3)	2	18.18	
かのや東	35 (1)	36 (1)	1	33.33	
きもつき	20 (0)	20 (0)	0	25.00	
南九州大崎	28 (2)	28 (2)	0	32.14	
志布志みなと	38 (4)	38 (4)	0	36.84	
計(8RC)	264 (26)	268 (27)	4	33.68	
奄美	44 (6)	47 (8)	3	19.15	
奄美中央	62 (12)	63 (12)	1	7.81	
奄美瀬戸内	14 (0)	14 (0)	0	28.57	
計(3RC)	120 (18)	124 (20)	4	18.51	
総計	2,309 (248)	2,374 (265)	65	42.23	

●入会者一覧

(ご入会おめでとうございます)

9月			9月		
会員名	クラブ名	入会日	会員名	クラブ名	入会日
山崎 涼子	日向	2023/9/25	新村 正明	阿久根	2023/9/5
原 淳	宮崎	2023/9/5	野口千恵子	加治木	2023/9/26
本田 久士	宮崎	2023/9/12	吉田 泰葉	国分	2023/9/1
横奥 宏明	宮崎	2023/9/12	中村 正一	国分中央	2023/9/27
川畑 正憲	宮崎	2023/9/26	津曲 晋作	始良	2023/9/27
堂地 隆一	宮崎	2023/9/26	園田俊一郎	鹿児島	2023/9/8
永山 博康	宮崎	2023/9/26	福田 和志	鹿児島北	2023/9/7
西川 義久	宮崎北	2023/9/20	竹中 貴志	鹿屋	2023/9/27
木下 真一	都城	2023/9/8	満留 卓也	志布志	2023/9/5
新内 和之	都城西	2023/9/6	川平 竜平	志布志	2023/9/5
山下 浩司	小林中央	2023/9/5	高橋 真美	志布志	2023/9/5
河原 真仁	都城中央	2023/9/7	坂元 裕	かのや東	2023/9/14
細山田由紀子	都城中央	2023/9/14	阿部佐智子	奄美	2023/9/21
溝口 一彦	川内	2023/9/26	吉野希衣子	奄美	2023/9/21
川端里花子	阿久根	2023/9/5	山元 克己	奄美中央	2023/9/5

●退会者一覧

(おつかれさまでした)

9月		
会員名	クラブ名	退会日
萩 大道	延岡	2023/9/30
福田 陽一	宮崎北	2023/9/30
森 眞征	宮崎北	2023/9/30
瀬川 政光	都城西	2023/9/27
山下 武士	小林中央	2023/9/4
阿萬 桂一	川内	2023/9/30
川原 雄一	顕娃	2023/9/30
増喜 裕二	鹿児島西	2023/9/30
大重 浩樹	かのや東	2023/9/30

ハワイ州マウイ島山火事への支援金報告

日頃より、地区運営につきまして、ご協力いただいておりますこと心より感謝申し上げます。
さて、ハワイ州マウイ島山火事支援金を募りましたところ、10月16日現在722,600円お寄せ頂きました。10/26(木)、**722,600円**を第5000地区「マウイ島火災救援基金」に送金しました事をご報告致します。
この度は、ハワイ州マウイ島山火事支援にご協力を頂きありがとうございました。

国際ロータリー第2730地区
ガバナー 池ノ上 克

安心の先にある幸せへ。

第一生命は創業以来、生命保険を通じて安心をお届けしてきました。

人生100年時代を迎え、一人ひとりの価値観が多様化する今、
もっと私たちにできることがあるはず。

笑顔、夢、希望があふれる毎日と未来のために、
私たちは生命保険の枠を超えて、一人ひとりの
「クオリティ オブ ライフ (QOL)」 向上に貢献していきます。

「一生涯のパートナー」として、できることを、まっすぐに。

第一生命保険株式会社 宮崎支社

〒880-0806 宮崎県宮崎市広島1-18-13 宮崎第一生命ビルディング新館10F
TEL 0985-28-3111 (代) 受付時間 平日午前9時～午後5時
第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

《事業内容》

- 九州電力委託、請負工事
(配電・送電・発電電・情報通信)
- 電気・空調管・給排水・衛生設備工事
- 省エネ提案、オール電化関連工事
- ドローンスクール及び関連機器販売、
関連請負

《営業所》

- 鹿児島営業所



(株)明光社



宮崎市江平中町7-10

☎0985 (23) 6261

